

【菊池病院長着任行事】

令和7年12月17日（水）自衛隊札幌病院は、病院長着任行事を執り行い、新たに菊池勇一陸将が第30代病院長に着任した。

着任に際し、菊池病院長は、統率方針として「任務完遂」を掲げ、自衛隊病院に課せられた基本的任務に加え、今後は人材育成拠点として方面隊内外を問わず衛生科隊員の人材育成に重点を置き、如何なる事態においても適応し得る医療体制を堅持し、即応性をもって最後まで任務を成し遂げられる組織を創造するという強い意思を職員に示した。

また、「前進」及び「連携」の2点を要望した。「前進」とは、医療の世界が日進月歩と言われる中で、我々を取り巻く環境も目まぐるしく変化し、現状に満足する事が、“後退”を意味することだと認識させ、「風が吹いた時に前進できるのは、常に危機意識をもって準備を怠らず、帆を張っているからである。」と職員に話され、病院機能を更に強化するため、職員一人一人がやるべきことを考え一歩でも前進することを意識するよう求めた。「連携」については、方面隊全体の衛生活動の実効性を向上させるため、各部隊及び隊員等のニーズを積極的に院務に反映させるとともに、部内外の関係各所及び地域との連携を密に強化させ、各種事業を推進していく考えを示した。

自衛隊札幌病院は、今後、菊池病院長が掲げる統率方針の下、全職員が一丸となって職務に精励し、自衛隊衛生の一翼を担う組織として、如何なる任務に対しても確実に応え得る態勢の確立に万全を期するとともに、隊員及び国民にとって「心の通う信頼される病院」としてさらなる発展を遂げて行くことを胸に誓った。



第30代札幌病院長 菊池陸将



執行者に栄誉礼



記念撮影



初度巡視（4 A病棟）



初度巡視（6 A病棟）



初度巡視（准看護学院）